

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 8月 1日

議 会 議 長 様

議席番号 9 番

議員氏名 野 口 俊 彦

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 当初予算編成方針を問う	<p>窪田町長は、令和4年8月8日に新町長として就任し、各種の公約事業を掲げまちづくりを推進しているところですが、早いもので就任してから2年が経過し、任期も折り返しの時期となっています。</p> <p>令和7年度の当初予算編成は、町長自身3回目となり、任期一期目の集大成の年といっても過言ではありません。今後、10月上旬に予算編成方針等の説明会があり、同月末には各課より予算要求が提出されます。そこで、令和7年度の予算編成方針をどのように考えているのか、以下伺います。</p> <p>(1) 町長が目指す令和7年度の予算編成方針とは、どのような内容なのか。</p> <p>(2) 公約に掲げた4つの優先政策の進捗状況及び令和7年度における取組は。また、工程表通りに進んでいない事業の問題点、課題は何か。</p> <p>(3) 公約に掲げた4つの優先政策及び9つの課題を見直す考えはないのか。</p> <p>(4) 令和5年度の決算をどのように分析し、令和7年度当初予算編成に活かしていくのか。また、行政サービスが低下した事業はないか。</p> <p>(5) 毎年、財政調整基金で歳入不足を補填せざるを得ない状況が続いている。令和7年度においても非常に厳しい財政状況下での当初予算編成になると思慮するが、財政調整基金の確保に向けて、どのように取り組んで行くのか、見解を明らかにされたい。</p>	町長 副町長 総合政策課長 担当課長

8月 1日 午前・午後 8時30分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 被害を及ぼす外来生物の駆除等へ助成制度の創設を</p>	<p>(6) 施策を推進する上では、財政の健全化が最も重要な課題であると認識している。スピード感をもって、これまでの取組を大胆に変えていくなど、財政運営が持続的に維持できるよう財政の健全化に重点的に取り組む考えは。</p> <p>アライグマやハクビシンは、多様な環境での生息が可能であり高い繁殖力を持つなどの特徴から、近年当町においてもペットや農作物への被害、家屋侵入による建物被害が多発しています。さらには、自宅の屋根裏に住みつき繁殖してしまい、糞尿や昼夜を問わない鳴き声、足音などの相談が多く寄せられています。そこで、これらの被害に対する町の対策について、以下伺います。</p> <p>(1) 当町における過去数年間の相談件数及びその内容は。</p> <p>(2) 相談に対する町の対応は。</p> <p>(3) 被害を及ぼす外来生物の危険性や対策をどのように住民に周知しているのか。現状を伺う。</p> <p>(4) 外来生物の駆除には多額の費用がかかるなどの課題もあり、住民が安全に安心して生活できる環境を推進するためにも、駆除等助成制度を創設すべきと考えるが、町の見解は。</p>	<p>町長 副町長 環境課長 担当課長</p>